

令和 5 年 度

事 業 報 告 書

令和 5 年 4 月 1 日から
令和 6 年 3 月 3 1 日まで

公益財団法人日本習字教育財団

目 次

(令和5年度事業報告)

一. 書道の通信教育及び実習指導	1
1. 通信教育	1
2. 実習指導	3
3. 教室への新入会者並びに教室の学習活動支援	4
4. 書道用具の頒布	5
5. W e b サイトの運用	6
6. 習字の日	6
7. 展覧会の後援及び書道展の支援	7
8. 文化講演会の開催	7
9. 創立70周年記念企画	8
二. 書道に関する展覧会の開催	9
1. 書道展の開催	9
2. 席書大会の開催	10
三. 書道に関する機関誌その他の出版物の発行	11
四. 文字資料その他文化資料の調査研究と展示公開	12
1. 書道文化に関する調査研究	12
2. 文字資料その他文化資料の展示公開	12
3. 教育・文化施設の運営	13
五. 書道に関する教育・研究機関への助成	14
六. その他本法人の目的を達成するために必要な事業	14

一．書道の通信教育及び実習指導

1．通信教育

(1) 教材

各コースそれぞれ手本（教材）及び教師用指導書「教師月報」を配付した。通信教育会員向け機関紙「日本習字だより」と「たのしい習字」を毎月発行した。



(2) 学習方法

受講申し込みの後、教材配本→学習後、課題提出→認定・添削、質問への回答→返送を1か月の学習サイクルとして行った。日本習字臨書部の添削については希望者のみ行った。また書写技能基礎講座、書道臨書講座については最終課題提出時に修了試験を行った。



(3) コース

No.	通信教育の名称	期 間
1	日本習字幼児部	1 2 か月
2	日本習字小学1年	1 2 か月
3	日本習字小学2年	1 2 か月
4	日本習字小学3年	1 2 か月
5	日本習字小学4年	1 2 か月
6	日本習字小学5年	1 2 か月
7	日本習字小学6年	1 2 か月
8	日本習字中学1年	1 2 か月
9	日本習字中学2・3年	1 2 か月
10	日本習字漢字部	1 2 か月
11	日本習字かな部	1 2 か月

1 2	日本習字ペン部	1 2 か月
1 3	実用書道くらしの書	1 2 か月
1 4	日本習字臨書部	1 2 か月
1 5	書写技能基礎講座〔楷書編〕（文部科学省認定）	6 か月
1 6	書写技能基礎講座〔行書編〕（文部科学省認定）	6 か月
1 7	書道臨書講座【楷書Ⅰ】（文部科学省認定）	5 か月
1 8	書道臨書講座【楷書Ⅱ】（文部科学省認定）	4 ～ 1 2 か月
1 9	書道臨書講座【隷書】	3 ～ 6 か月

（４）日本習字模範揮毫DVD（P2 №1～11、12 か月）、日本習字臨書部模範揮毫DVD（付録：解説付拡大手本・条幅、12 か月）を頒布した。「日本習字漢字部 条幅課題拡大手本 2 8」、「日本習字漢字部 条幅課題拡大手本 2 9」を頒布した。

（５）新入会者を対象とした教材「入門編（生徒手本課題集）」「入門編（成人手本課題集）」、学習指導書を新入会の希望者に配布。認定添削を行った。

（６）資格認定

ア．段級位の認定

（ア）会員の課題出品に対して各コースそれぞれの基準に従って審査し、段級位を認定した。

（イ）漢字部昇段試験を実施した。

受験有資格者に対し、昇段試験を実施した。（7 月）

（ウ）臨書部昇段試験を実施した。

初段～五段（5 月・9 月・令和 6 年 1 月）

六段位（7 月）

七段位（7 月）

（エ）生徒部八段位昇段試験を実施した。

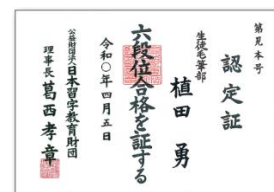
イ．「くらしの書」実力の認定

希望者に対し、実力認定試験を実施した。（4 月）

（７）認定証の発行

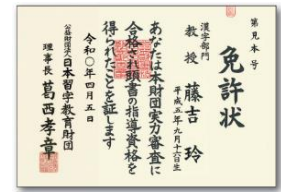
ア．所定の段級位合格者に対し、本人の申請により段級位等認定証を発行した。

イ．「くらしの書」実力認定試験の合格者に対し、本人の申請により認定証を発行した。



(8) 免許状の発行

免許状取得資格者に対し、本人の申請により免許状を発行した。



(9) 合格之証の発行

ア．漢字部六段位、七段位、八段位の合格者に対し、本人の申請により合格之証を発行した。

イ．臨書部六段位、七段位の合格者に対し、本人の申請により合格之証を発行した。

(10) 雅号之証の発行

雅号を希望する者に対し、雅号之証を発行した。

(11) 表彰

通信教育受講者の中から、特に成績が優秀な者を第74回文部科学省認定社会通信教育修了者表彰に推薦し表彰された（主催：文部科学省、一般財団法人社会通信教育協会）。6月9日に予定されていた表彰式は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。

書写技能基礎講座〔楷書編〕課程 1人

2. 実習指導



本法人の研修施設及び全国各地域及びオンラインで実習指導を行った。講座名は次のとおり。

- (1) 東京研修所 漢字部講座、漢字部研究講座、漢字部条幅講座、条幅研究講座、臨書講座、臨書の学び方、かな部講座、ペン部講座、くらしの書、臨書の学び方、書写と書道を学ぶ講座、新支部長サポート講座、フォローアップ研修会、全紙に挑戦を開催。
- (2) 福岡研修所 漢字部講座、漢字部研究講座、漢字部条幅講座、条幅研究講座、かな部講座、かな専科、臨書講座、書写と書道を学ぶ講座、夏期スクーリング、フォローアップ研修会を開催。
- (3) 沖縄研修所 漢字部講座、研究講座、条幅講座、かな部講座に短期講座として新支部長サポート講座、めんそーれスクーリングを開催。

- (4) 各地講習会 全国各地にて実習指導（漢字部昇段試験対策講座、漢字部半紙・条幅講座、臨書講座、臨書レッスン、かな講座、篆刻講座、鶴舞千年講座、検定の先生に学ぶ講座、習字教室開設研修会、新支部長懇談会）を開催。

書道体験を通した国際交流は諸般の事情により中止した。

3. 教室への新入会者並びに教室の学習活動支援

書道学習の機会拡大や継続学習の応援を目的に普及企画を実施した。

(1) 「創立 70 周年 特別入会キャンペーン」

習字教室指導者の新たな出会いの応援をテーマに、全教室を対象とした特別入会キャンペーンを実施。期間中のすべての入会者に習字道具を進呈した（令和4年11月～令和5年9月）。

(2) はじめての「お習字体験教室」

教室開設3年未満の指導者への活動応援として、習字体験教室の開催を推進するためのスペシャルサポートを実施。体験教室を通した新入会者獲得の後押しを推進。サポート内容は、「新聞折り込み・ポスティング費用の補助」「体験用具の提供」「体験教室のチラシ提供」（令和5年2月～令和6年3月）。

(3) 「中学部受講促進」

小学6年生に、中学部課題の先行学習機会の提供や、中学部継続受講申し込み特典等の学習支援を行った。



(4) 教室イベントの実施

教室での継続学習の後押しとして、書道の楽しさを実感できるイベントを推進するため、全国の教室に年間を通して10の教室イベントを案内した。

①春の教室イベント＜イベント4種＞

②こどもの日教室イベント＜イベント2種＞

③教室を彩る七夕飾り＜イベント3種＞

- ④夏の教室イベント「教室を夏色に飾ろう」＜イベント1種＞
- ⑤夏休み工作イベント
- ⑥教室で夏まつり
- ⑦習字の日教室作品展
- ⑧お友だちを誘ってカレンダーを作ろう
- ⑨新年を彩る画仙紙装を飾ろう
- ⑩生徒八段合格応援きっぷ＜イベント3回＞



4. 書道用具の頒布

会員に対し、書道の技能向上を図る上で最適な書道用具等を選定・推奨し頒布した。書道用具等は「選定品」「推奨品」「頒布会品」に区分しそれぞれ目的に応じて提供した。



【オンラインショップ】

(1) 選定品の頒布

書道技能向上を目的とした通信教育各コースの学習において、課題の履修のために欠くことのできない書道用具（筆・紙・墨・硯等）及び硬筆用具（鉛筆・ペン・用紙等）を頒布した。

(2) 推奨品の頒布

選定品以外に会員からの斡旋要望または書道作品制作及び書道学習の履修に必要となる用具を頒布した。

(3) 頒布会品の頒布

特別頒布会を実施し、競書大会・教室イベント・教室での作品展向けの書道用具・展示用具などの頒布会品を期間限定で斡旋した。春の特別頒布会では教室支援品、文房具等の頒布を行った。またオンラインショップ限定の頒布を年3回実施した。

ア.「たなばた特別頒布会」 5月～7月

※日本習字展向け用具特別頒布会は9月まで

イ.「かきぞめ特別頒布会」 10月～12月

ウ.「春の特別頒布会」 令和6年2月～3月

5. Webサイトの運用

(1) 日本習字公式Webサイト

日本習字の紹介や全国の習字教室検索・受講申し込み・問い合わせ受け付け、展覧会やイベント等の告知ほか、SNSや日本習字公式動画チャンネルを活用して情報発信を行った。Web広告からの教室検索への利用促進、また創立70周年特設ページを開設して各種取り組みを紹介した。



【日本習字公式Webサイト】



【Web広告(動画)】

(2) 支部長専用Webサイト

指導者の利便性の強化を図り、円滑な教室運営をサポートすることを目的に専用サイトを運営した。



【支部長専用Webサイト】

6. 習字の日

日本習字制定の記念日「習字の日（11月2日 いい（11）もじ（2）の語呂合

わせ)」に関連して、「手書きの文字」のよさや重要性を伝え、その文化を伝えるべく下記の企画を実施した。

- (1) 「手紙をかこう」ツールの配付
手紙やはがきで思いを伝えるツールを習字教室はじめ広く活用を促した。一般に向けては郵便局（東京麹町郵便局・京都中央郵便局・福岡県内の拠点郵便局）にポスター掲示またはツールを設置（10月～11月）。



【手紙をかこうツール】

- (2) 書道イベントへの協賛
書道の未来を担う若者を応援するため、全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会（愛媛県四国中央市で開催）に協賛した（7月23日）。



【全国高校書道パフォーマンス選手権】

提供：書道パフォーマンス甲子園実行委員会

7. 展覧会の後援及び書道展の支援

福岡矯正管区文芸作品コンクールをはじめ各種団体等が実施する書道展覧会等に対し、後援・審査等の支援をした。地域における教室の活性化、指導者同士の連帯を目的に合同で開催する作品展を後押ししたこともあり、後援の件数は増加した。



8. 文化講演会の開催

日本習字創立70周年記念式典会場（京都市）において記念講演会を実施した（11月5日）。講師は明治大学文学部教授の斎藤孝氏。演題は「日本語力とコミュニケーション力～つながりとやる気を育む雑談力」。



9. 創立70周年記念企画

令和5年9月1日に創立70周年を迎え、これを記念して令和6年3月末までの期間、以下の各種企画を実施した。

No.	企画	実施時期
1	創立70周年特別入会キャンペーン 創立70周年を記念して、これまでの入会キャンペーンから開始時期を2か月早め、また全国すべての教室に対象を広げた内容に変更し、教室への新入会者の募集活動を実施した。 	令和4年11月～ 令和5年9月
2	創立70周年特別入会キャンペーンWeb広告 創立70周年特別入会キャンペーンをより効果的に展開するためWeb広告の配信を実施した。 	令和4年11月～ 令和5年4月
3	習字普及活動「はじめての筆体験」 （商業施設で実施） ファミリー層をターゲットに商業施設などでイベントを開催した。併せて教室紹介も実施。 	4月～5月
4	習字教室イベント推進企画	年間を通して実施
5	幼児用新規教材の発刊 ・はじめ“て”Labo（3歳児対象） ・えんぴつクラブ（5、6歳児対象） 幼児指導学習会を東京で開催（6月）  	教材の取り扱い開始 ・はじめ“て”Labo⇒7月より ・えんぴつクラブ⇒6月より
6	原田観峰漫画（電子書籍）「吾使命－習字教育にかけた情熱－」 創立70周年を機に未来の日本習字・書道文化を担う指導者・会員に向けて創立者原田観峰の生涯をわかりやすく理解してもらうため、漫画（電子書籍）を制作。 	9月公開
7	日本習字創立の地 やながわ展（柳川市民文化会館） 日本習字創立の地である柳川市で記念展を開催。観峰青年時代の希少な書作品をはじめ創立当時の手本を展示。  	9月2・3日
8	日本習字創立70周年記念式典（国立京都国際会館） 全国の日本習字教室の指導者をはじめ関係者と、関係都市の首長らの来賓を招いて、創立70周年記念式典を開催した。式典では、70周年記念表彰、アンバサダー任命式、コンセプトムービー上映、新たな30年に向けての決意宣言、記念講演、揮毫パフォーマンスを行った。また、記念式典の様子は日本習字教室の先生・会員に向けてライブ配信を実施。 	11月5日
9	日本習字教室の指導者へ感謝状贈呈 教室開設10年以上の日本習字教室の指導者に感謝状を贈呈。 	11月6日より順次発送
10	観峰館バスツアー 当財団が運営する博物館、観峰館（滋賀県東近江市）を鑑賞するバスツアーを実施。 	11月6日
11	バーチャル展覧会日本習字創立70周年観峰コレクション収集の経緯 観峰館のWebサイト上で公開した展覧会。	12月～令和6年3月

12	原田観峰揮毫の石碑拓本の裏打ち 原田観峰が昭和 20 年に揮毫し、鹿児島県志布志市松山城址に建つ「神州不滅」碑の拓本を将来の展示・保管のために裏打ちを実施。	令和 6 年 3 月
----	--	------------

二. 書道に関する展覧会の開催

1. 書道展の開催

(1) 第 27 回公募日本習字展の開催

書道文化・書道教育の振興を図ることを目的に、広く一般から毛筆・硬筆作品を公募した。優秀作品はW e b展で発表を行い、特別賞受賞者を対象に表彰式を行った。

ア. 募集方法 本展の開催募集告知を新聞、当財団W e bサイトで行うとともに、書塾及び書道関係者、書道愛好家に文書にて協力を求めた。

イ. 後援 文化庁、中国大使館、京都府、福岡県、京都府教育委員会、福岡県教育委員会、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、全日本中学校長会、全国連合小学校長会、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、その他報道機関 85 社

ウ. 募集期間 8 月 1 日～9 月 16 日

エ. 応募総数 75, 280 点

オ. 審査 日本習字展審査委員会

カ. 審査結果 文部科学大臣賞 2 点他各賞

キ. 作品発表

(ア) 入賞作品を対象に、W e b展を開催(令和 6 年 1 月～令和 7 年 1 月)。



【W e b展】

(イ) 文部科学大臣賞、観峰大賞作品を機関紙「日本習字だより」「たのしい習字」、当財団W e bサイトで掲載発表した。



【機関紙】



【W e bサイト】

(ウ) 上記 2 賞を含む特別賞作品 90 点を掲載した特別賞入賞作品ポスターを作成し、応募者（代表者）に配布した。



【特別賞入賞作品ポスター】

ク. 表彰式

特別賞受賞者を対象に、明治記念館（東京都港区）において表彰式を举行了。〔開催日：令和 6 年 2 月 25 日〕



2. 席書大会の開催

(1) 第 24 回日本習字全国席書大会の開催

小学生以上の会員を対象に参加者を募集し、全国 6 会場で実施した。制限時間 20 分のもと、学年ごとに決められた課題を手本なしで書き上げ、一斉に披露した。福岡会場ではオンライン（ビデオ会議システム活用）との併催とし、後日、その模様を Web 上で動画配信した。

ア. 募集方法 指導者・会員に募集要項などを配付し、機関紙「日本習字だより」「たのしい習字」に開催告知を掲載した。また SNS で発信し参加者を募った。

イ. 後援 北海道教育委員会、愛知県教育委員会、兵庫県教育委員会、福岡県教育委員会、沖縄県教育委員会、報道機関 17 社



【募集ポスター】

ウ. 開催実績（いずれも令和6年）

	大会名	会 場（開催地）
1月4日	札幌大会	札幌市厚別区体育館（札幌市）
1月5日	東京大会	大森スポーツセンター（大田区）
1月5日	神戸大会	神戸常盤アリーナ（神戸市）
1月6日	名古屋大会	名古屋国際会議場（名古屋市）
1月8日	福岡大会 オンライン	福岡国際センター（福岡市） 自宅や習字教室など
1月8日	沖縄大会	沖縄市体育館（沖縄市）



【神戸大会】



【福岡大会】



【オンライン開催】

エ. 審査 日本習字全国席書大会審査委員会

オ. 審査結果 大賞9点他各賞

カ. 作品発表

席書大賞・席書準大賞・審査委員会奨励賞受賞作品を機関紙「日本習字だより」「たのしい習字」、当財団Webサイトで掲載発表した。

三. 書道に関する機関誌その他の出版物の発行

補助教材として出版物を発行した。主な出版物は次のとおり。

- (1) 漢字部昇段試験受験用教材として「日本習字漢字部 昇段試験受験ガイド（別冊過去の試験問題付き）」、生徒部八段位昇段試験用教材として「日本習字生徒部八段位受験ガイド」を発行した。



- (2) 幼児・児童向け教材として「はじめてのひらがな（入門編）」、「だいすき！ひらがな（練習編）」、「ひらがな練習帳1（五十音）」、「ひらがな練習帳2（ことば）」、「カタカナ練習帳」を発行した。
- (3) 漢字学習教材として日本習字漢字練習帳「1年生のかん字」を発行した。

(その他2年生～6年生まで)。



- (4) 幼児の手本受講までの導入教材として、幼児向けの学習教材「はじめ“て” Labo」、年長児向け学習教材「えんぴつクラブ」を発行。同教材の習字教室での活用を促進するため、指導者限定のお試しセットを頒布。



四. 文字資料その他文化資料の調査研究と展示公開

1. 書道文化に関する調査研究

博物館観峰館の収蔵資料の中から中国書画をはじめ、日本の教科書など筆墨文化に関する資料を分類整理し調査研究を行った。



(1) 関西中国書画コレクション研究会への参加

近代中国書画に関して他の博物館及び大学等研究機関との連携による共同研究に参加した。加盟館9館：京都国立博物館ほか

(2) 国立歴史民俗博物館共同研究への参加

「秦漢時代の文字使用をめぐる学際的研究」として、館蔵秦封泥資料を対象とした共同研究に参加した。



(3) 収蔵資料のデータベース化

収蔵資料の内容・作者・法量・制作年などをデータベース化した。

(4) 『観峰館紀要』第18号を刊行し、研究者・関係機関等に進呈した。



2. 文字資料その他文化資料の展示公開

(1) 常設展示（主な展示資料）

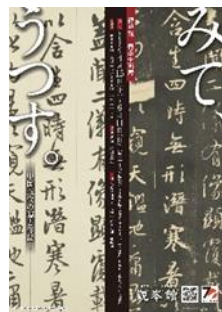
ア. 近代中国の書画、中国の文字資料、復元石碑

イ.「避暑山荘」・「三希堂」の復元資料

ウ. 原田観峰書作品

(2) 企画展示を下記のとおり実施した。

	会 期	名 称
1	4月15日～6月11日	春季企画展「みて、うつす。 —中国近代の臨書作品—」
2	7月 1日～9月 3日	夏季企画展「画題を探る —中国絵画に隠された意味—」
3	9月23日～11月26日	特別企画展「近江・聖徳太子伝承社寺の美術 —地域に根付いた文化財たち—」



(3) バーチャル観峰館の公開

常設展示・企画展示の内容を遠方からでも閲覧できる、バーチャルツアーサイトを作成し、Webサイト上で公開した。



【バーチャル観峰館】

(4) 館外展示

「創立70周年記念展 日本習字創立の地 やながわ展」

会期：9月2日・3日

会場：福岡県柳川市・柳川市民文化会館「水都やながわ・ギャラリー」

後援：柳川市・柳川市教育委員会

3. 教育・文化施設の運営

博物館観峰館の施設運営並びに館内で各種体験学習教室、各種イベントを開催した。

(1) 概要

- ア. 開館日 4月15日～11月26日
 イ. 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
 展示替え期間（6月12日～6月30日ほか）
 資料調査・整理休館（11月27日～令和6年3月31日）
 ウ. 開館日数 162日
 ※淡海書道文化専門学校卒業展のため9日間臨時開館
 エ. 入館料 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生無料
 特別企画展は各1,500円、1,000円、100円
 （団体割引、その他各種入館割引を実施）
 オ. 入館無料日 関西文化の日ほか、年間計6日

（2）書道に関する体験学習教室の開催

瓦当拓本教室、石碑採拓教室などを適宜開催した。

（3）各種イベントの開催

ア. ギャラリートーク&ミニコンサート 3回

イ. アンティークオルゴール鑑賞会 2回

ウ. 「夏休み子ども博物館」クイズラリー

エ. 土曜講座 6回

オ. オンライン講座 15回

カ. 第28回観峰館かきぞめ大会

（4）博物館学芸員実習生の受け入れ

3名を対象に実施した（8月）。

（5）地域及び教育機関と連携した学習・研修機会の提供

京都芸術大学特別講義・東近江市博物館共同イベントワークショップ参加・淡海書道文化専門学校石碑採拓実習指導。

（6）展示資料解説

各種団体・グループ来館者に対し館内の案内、資料解説を行った。



【石碑採拓教室】



【観峰館かきぞめ大会】

五. 書道に関する教育・研究機関への助成

なし

六. その他本法人の目的を達成するために必要な事業

なし